

中国留学体験レポート

21018017 太田 大貴

私は本学の派遣留学制度を利用し、2019年8月26日から12月28日までの125日間の間、北京師範大学に留学してきました。この4ヶ月間の中で経験したことや感想について述べたいと思います。

まず留学についてですが、すべてがうまくいったわけではありませんでした。序盤は授業についていくことが難しく、大変でした。さらに友達作りにも苦戦しました。ほかの人たちは中国語の能力がすごく、圧倒されてしまって積極的なコミュニケーションをとれませんでした。スタートダッシュを決められなかったため、私はこれからどうすればいいのかと悩みました。しかし、私はこのままだと留学に来た意味はないと思い、少しずつ学習面でも友達作りでも変化させるような行動をとるようにしました。まず、学習面では予習から始めるようにしました。予習を始めたことで徐々に授業の内容が理解できるようになり、先生の質問に答えることができるようになり、後れを取らなくなりました。友達作りでは、話す話題をあらかじめ決めるようにしました。決めるようになってから黙り込む時間が減り、コミュニケーションをとれるようになりました。結果として、少しですが友達を作ることができました。しかし、今でも後悔しているのはもっと早くから積極的な行動を心がけていれば、もっと充実した留学生活を送れたのではないかと思います。

少し暗い話ばかり述べましたが、留学生活が充実していなかったわけではありません。勉強をしっかりと頑張った結果、クラスの中で最も優秀な生徒として選出していただくことができ、とても嬉しく思います。休日は友達とたくさんの観光地に行きました。天安門や万里の長城などたくさんの観光地に行くことができ、よかったです。本学から一緒に留学へ行った人で全く関りがなかった人たちとも仲良くなることができ、とても充実した生活を送ることができました。充実した生活を送れたのは友達がいたからだと思うので、とても感謝しています。

今思えば、留学はあっという間に終わったなと感じています。気づいたらもう明日帰国だというような感じで、寂しい気持ちになりました。ですが、寂しい気持ちになるということは留学が楽しかったということになると思うので、その部分を見ればいいことなのかなと思います。

今後留学に行く人たちに伝えることがあるとすれば、まずは積極的に行動すべきだと教えてあげたいです。あとで後悔しないようにすれば、うまくいくと思うので頑張ってもらいたいです。あとは、休日は観光地に行くなど有効的に使ってほしいです。

最後になりますが、留学中の生活を支えてくださった羅穎さん、授業で丁寧に中国語を教えてくださいました先生方、佐藤若菜先生、區建英先生、本学の学務課の方々、そして留学に行くことを賛成し支援してくれた家族に感謝いたします。ありがとうございました。